高田病後児保育所「ぬくみ」 掲示板

【3月のテーマ】　　予防接種

高田病後児保育所スタッフより

暖かな陽の光とともに、小さな虫や可愛らしい花草を見かける季節となりました。今月のテーマは「予防接種」です。近年、ワクチンの種類の増加や共働き世帯、習い事の増加などライフスタイルの変化により接種率の低下が問題となっています。失った命や健康は戻ってきません。予防接種（ワクチン）の重要性についてお伝えします。

☆「ワクチンで防げる病気」を VPD と呼びます

VPD とは、Vaccine（ワクチン） Preventable（防げる） Diseases（病気）の略です。

子どもたちがかかりやすい VPD は以下のようなものがあります。

≪ワクチンで防げる主な病気≫

B 型肝炎　ロタウイルス感染症（胃腸炎）　ヒブ感染症　肺炎球菌感染症　ジフテリア　破傷風　百日咳　ポリオ　結核　インフルエンザ　新型コロナウイルス感染症　麻しん（はしか）　風しん　おたふくかぜ　水痘　日本脳炎　ヒトパピローマウイルス感染症　髄膜炎菌感染症　A 型肝炎

予防接種でなじみのある病気もあります。せっかくワクチンがあっても、接種しなければ予防はできません。こんなもったいない話はありませんよね。ワクチンで防げる病気は予防しましょう。

☆そもそもワクチンとはどんなものでしょうか？

私たちの周りには、細菌やウイルスによる様々な感染症があります。これらを防ぐために有効な手段がワクチンです。ワクチンとは、感染症の原因となる細菌やウイルスを加工して病原性を弱めたりなくしたりして身体にとって安全な状態にした薬剤です。それを体内に投与し免疫、病気への抵抗力を作ります。乳幼児期は、免疫が未発達のため感染症にかかりやすいです。そのため、感染することで免疫を獲得し、成長していきます。中には治療法が確立されておらず、深刻な合併症や後遺症、命を落とす危険性のある感染症もあります。それらについては、やはりかからないように予防することが大切です。

☆ワクチンの役割、目的は？

1. 自分がかからないために　2.もしかかっても症状が軽くすむために　3.まわりの人にうつさないために

ワクチンは、予防接種する本人の健康を守るため、自分のまわりの大切な人を守るために重要です。地域社会で VPD の流行を防ぐことで子どもに限らず、免疫力の弱い人たちも VPD から守られます。

☆予防接種はスケジュールを立てて受けましょう

ワクチンにより、接種する年齢や回数・間隔が異なります。お子さんに合ったスケジュールを立てて、最適な時期に接種できるようにしましょう。予防接種は、お子さんの普段の様子を知っているかかりつけで受けるのが良いでしょう。定期接種だけでなく、任意接種も必要です。

☆接種スケジュールのポイント

①流行している VDP、重症化しやすい VPD を優先　②接種年齢（月齢）になったらすぐ受ける

③同時接種を取り入れる　④わからない時はすぐ相談　⑤デビューは生後 2 か月！スタートダッシュが肝心

早く免疫をつけて VPD を予防するためには、初めての予防接種で注射 4 本、飲むワクチン 1 本を受けます。お子さんが誕生し、出生届を提出したら小児科探しとワクチンデビュー計画を立てましょう。大切なお子さんやご家族の命と健康を守るために予防接種についての正しい知識を身に付け、積極的に受けましょう。